

医療機器の企画・販売ベンチャーのICST(さいたま市、横井博之社長)は懸賞付きの学生論文コンテストを主催、十七日にさいたま新都心で論文の発表会を実施した。写真。コンテストを後援したさいたまS.O.H.O起業者協議会の太田昇理事長によると「ベンチャー企業が論文コンテストを実施するケースは珍しい」という。

医療機器のICST



V Bが論文コンテスト

どBRICsと呼ばれる有報技術)との融合ビジネス力新興市場での医療ビジネスの展開がテーマ。キャンパスの可能性、医療とIT(情ス・イノベーション)センター

BRICs開拓などテーマに

一(東京・港)を經由して全国の大学に論文を募集し、十ほどの応募があったという。最優秀賞だった山形大学大学院理工学研究科の穴戸道明氏は論文で「効率的な外来診療支援システム」について提案した。

ICSTにとっては学生へ自社をPRするという狙いもあった。太田理事長は、「次回はさらにテーマを広げ、ベンチャー企業数社で論文コンテストを共催してもらいたい」と語った。